

平成31年度 大田区予算(案)概要



平成31年 2月13日
大田区

平成31年度 一般会計予算（案）集計表

(1) 歳入(款別)

(単位:千円、%)

款	31年度		30年度当初		前年度比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 特別区税	75,301,258	26.7	72,849,676	26.1	2,451,582	3.4
うち特別区民税	70,378,486	25.0	67,783,480	24.3	2,595,006	3.8
うち特別区たばこ税	4,589,165	1.6	4,739,756	1.7	△ 150,591	△ 3.2
2 地方譲与税	2,129,729	0.8	2,027,001	0.7	102,728	5.1
3 利子割交付金	276,983	0.1	238,000	0.1	38,983	16.4
4 配当割交付金	1,163,110	0.4	1,113,000	0.4	50,110	4.5
5 株式等譲渡所得割交付金	941,479	0.3	775,000	0.3	166,479	21.5
6 地方消費税交付金	14,180,496	5.0	13,207,000	4.7	973,496	7.4
7 自動車取得税交付金	198,651	0.1	645,001	0.2	△ 446,350	△ 69.2
8 環境性能割交付金	59,588	0.0	0	0.0	59,588	皆増
9 地方特例交付金	522,766	0.2	456,000	0.2	66,766	14.6
10 特別区交付金	75,940,000	26.9	73,034,000	26.2	2,906,000	4.0
11 交通安全対策特別交付金	61,351	0.0	62,000	0.0	△ 649	△ 1.0
12 分担金及び負担金	3,546,442	1.3	2,934,290	1.1	612,152	20.9
13 使用料及び手数料	8,685,256	3.1	8,922,228	3.2	△ 236,972	△ 2.7
14 国庫支出金	48,612,167	17.2	49,229,597	17.7	△ 617,430	△ 1.3
15 都支出金	20,376,189	7.2	19,460,575	7.0	915,614	4.7
16 財産収入	638,235	0.2	342,051	0.1	296,184	86.6
17 寄附金	387,832	0.1	291,787	0.1	96,045	32.9
18 繰入金	14,352,835	5.1	18,957,109	6.8	△ 4,604,274	△ 24.3
19 繰越金	2,000,000	0.7	2,000,000	0.7	0	0.0
20 諸収入	6,818,055	2.4	5,632,158	2.0	1,185,897	21.1
21 特別区債	5,700,000	2.0	6,600,000	2.4	△ 900,000	△ 13.6
合 計	281,892,422	100.0	278,776,473	100.0	3,115,949	1.1

(2) 歳出(款別)

(単位:千円、%)

款	31年度		30年度当初		前年度比較		
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率	
1	議会費	1,119,045	0.4	1,075,301	0.4	43,744	4.1
2	総務費	46,417,203	16.5	40,795,372	14.6	5,621,831	13.8
3	福祉費	153,396,787	54.4	152,425,325	54.7	971,462	0.6
4	衛生費	9,399,859	3.3	8,291,860	3.0	1,107,999	13.4
5	産業経済費	4,716,100	1.7	4,225,853	1.5	490,247	11.6
6	土木費	20,717,872	7.3	19,871,648	7.1	846,224	4.3
7	都市整備費	6,041,313	2.1	6,419,631	2.3	△378,318	△5.9
8	環境清掃費	10,485,419	3.7	10,360,438	3.7	124,981	1.2
9	教育費	25,819,668	9.2	31,234,171	11.2	△5,414,503	△17.3
10	公債費	3,045,731	1.1	3,339,276	1.2	△293,545	△8.8
11	諸支出金	433,425	0.2	437,598	0.2	△4,173	△1.0
12	予備費	300,000	0.1	300,000	0.1	0	0.0
合計		281,892,422	100.0	278,776,473	100.0	3,115,949	1.1

新生児聴覚検査費用の一部公費負担

新規

重点

予算額 2,011万4千円

副題：新生児聴覚検査費用の一部公費負担を開始します

ポイント

新生児の聴覚障害の早期発見・早期療養を図るために、東京都内の区市町村で新生児聴覚検査費用の一部公費負担を開始します。

聴覚障害は早期に発見され適切な支援が行われた場合には、音声言語発達等への影響が最小限に抑えられるため、全ての新生児を対象として聴覚検査を実施することが重要となります。

事業概要

1 新生児聴覚検査費用の一部公費負担

妊娠届出時に配布している妊婦健康診査受診票に加えて、新生児聴覚検査受診票を同時に配布し、費用の一部（1回の検査につき限度額3,000円）を助成します。



問合せ先	担当部課	健康政策部	健康づくり課
	課長	佐々木	電話 5744-1660
	担当者	鎌田	電話 5744-1661

成年後見制度の利用促進 **実計**

予算額 7,115 万円

副題：誰もが地域で尊厳を持って暮らし続けられる社会をめざします

ポイント

成年後見制度は、認知症や知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が十分でない人の権利を守るための重要な制度です。利用者がメリットを実感できるよう成年後見制度の普及啓発等を充実させるとともに、地域の関係機関とのネットワークづくりに取り組み、成年後見制度のさらなる利用を促進します。

事業概要

成年後見制度の利用促進に向け、平成31年3月に大田区成年後見制度利用促進基本計画を策定します。当該計画に基づき、おおた成年後見センター（大田区社会福祉協議会）とともに、以下の項目について取り組みます。

1 成年後見制度の普及啓発

啓発用のリーフレット・DVDなどの多様な広報媒体や、出張相談・出前講座など様々な方法を活用し、制度の具体的な活用例などを盛り込みながら制度利用のメリットを積極的にお伝えします。

2 後見人の育成・サポート

親族後見人の交流会を開催し、親族後見人同士の交流や悩みの共有を図るとともに相談対応や助言を行います。また、交流会を通じて、親族後見人が後見活動を行う上での課題等を把握し、親族後見人に対する支援について検討します。

さらに、地域の身近な支援者である社会貢献型後見人（市民後見人）を育成し、本人に寄り添った支援が行われる体制づくりを進めます。

3 地域連携ネットワークの構築

支援が必要な人を早期に発見し、速やかな支援につなげることができるよう、地域連携ネットワークの構築に向けた準備を進めます。また、ネットワークの中核となって関係機関のコーディネートを担う機関の設置に向けた検討もあわせて行います。

4 誰もが安心して成年後見制度を利用できる基盤の整備

「区長申立て」や「後見報酬の助成」を実施し、身寄りのない人や費用負担能力のない人であっても、必要であれば誰でも成年後見制度を利用できるよう、地域で安心して暮らせる基盤づくりを進めます。

問合せ先	担当部課	福祉部	福祉管理課
	課長	張間	電話 5744-1241
		田村	電話 5744-1649（福祉支援調整担当）
	担当者	山下	電話 5744-1244

障がい者総合サポートセンター(愛称：さぽーとぴあ)の充実

実計	重点
----	----

予算額 4億8,638万6千円

副題：23区初 診療所機能を備えた増築施設（B棟）が
平成31年3月にオープンし、4月以降稼働開始

ポイント

障がい者総合サポートセンター（さぽーとぴあ）増築施設（B棟）が、3月にオープンします。4月以降は医療的ケアを必要とする方を含む重症心身障がい児（者）等の短期入所事業と、学齢期の発達障がい児に対する相談・診察から療育までの支援事業を開始します。

事業概要

さぽーとぴあは、増築施設（B棟）が完成し、31年3月24日にグランドオープンします。

B棟では、区立としては23区初となる診療所機能を活用した、医療的ケアを必要とする方を含む重症心身障がい児（者）等を対象とした短期入所事業と、学齢期の発達障がい児に対する相談・診察から療育までの支援事業を開始する予定です。

さらに、1階では民間企業が運営する地域交流と障がい理解促進のためのカフェも開店予定です。



完成イメージ

1 短期入所事業	2億9,214万8千円
-----------------	--------------------

個室6床と多床室4床の計10床で行う予定です。

2 学齢期の発達障がい児支援事業	1億9,423万8千円
-------------------------	--------------------

相談、診察、個別療育、アウトリーチ型の地域支援事業のほか、放課後等デイサービス事業を行います。

問合先	担当部課	上記1 福祉部 障がい者総合サポートセンター
		上記2 福祉部 障害福祉課
	次長	上記1 関 電話 5728-9132
	課長	上記2 澤 電話 5744-1679 (障害福祉サービス推進担当)
	担当者	上記1 福島・小泉 電話 5728-9133
		上記2 田島 電話 5744-1316

障がい者施設の生産体制と販売強化 新規

予算額 575万5千円

副題：障がい者施設の自主生産品の生産体制を強化し、
販売促進に向けた取り組みを支援します

ポイント

障がいのある方の工賃向上を目指し、自主生産品の売上増加等に向けた取り組みを強化します。

事業概要

1 障がい者施設の経営力を強化する経営コンサルタント派遣事業 360万円

障がい者施設に経営コンサルタントを派遣し、現状把握・分析のうえ、事業改善、新商品の開発等に取り組み、質の高い自主生産品等を安定供給できる組織体制への支援を行います。

2 作業所等経営ネットワーク支援事業 215万5千円

「大田区・お客様・お気に入り」の3つの「お」を結ぶことをイメージした「おおむすび」のロゴマークを活用し、障がい者施設が連携して自主生産品の広報活動を進めます。

また、販売促進イベントの拡充に取り組み、自主生産品のPRを推進します。



「おおむすび」のロゴマーク



問合せ先	担当部課	上記1	福祉部	障害福祉課
		上記2	福祉部	志茂田福祉センター
	課長	上記1	酒井	電話 5744-1249
	所長	上記2	林(延)	電話 3734-0763
	担当者	上記1	林(誠)	電話 5744-1253
		上記2	高柳	電話 3734-0763

精神障がい者へのアウトリーチ訪問支援

新規

重点

予算額 1,017万2千円

副題：精神保健福祉士、保健師、医師など多職種で訪問し、
問題解決を支援します

ポイント

精神障がい者の地域生活を支援するため、精神保健福祉士、保健師、医師など多職種による訪問支援（アウトリーチ）を行います。支援対象者及びその家族などの状態に応じて必要な支援が適切に提供される体制を整備します。

事業概要

1 精神保健福祉相談員（精神保健福祉士等）と連携した訪問支援

精神保健福祉士等を2名配置し、精神科領域の支援が必要な人やその家族に対し、保健所をはじめとして、必要に応じて関係機関等の職員と一緒に、訪問相談や必要な支援の導入により問題解決に取り組みます。

ご本人がひきこもりがちであったり、適切な医療を受けていないため、直接区役所に来所しての相談が難しい場合も、家庭訪問を中心に時間をかけて問題解決を目指す、保健・医療・福祉の連携による重層的な支援体制をつくることを目標とします。

問合せ先	担当部課	健康政策部	健康づくり課
	課長	佐々木	電話 5744-1660
	担当者	竜崎	電話 5744-1683

精神障がい者の退院後支援

新規

重点

予算額 115万4千円

副題：精神疾患での退院後に、病状悪化により再び入院することがないよう
地域で必要な支援や生活を一緒に考えて支援します

ポイント

措置入院などの非自発的入院の後に退院をする際に、希望する方に対し退院後支援計画を作成し、地域での生活が順調に送れるように支援します。保健師および精神保健福祉相談員（精神保健福祉士等）が中心になって計画を作成し、地域の支援者・関係者と連携して支援します。

事業概要

1 保健師・精神保健福祉相談員等による退院後支援計画の策定・実施

措置入院などの非自発的入院中に病院へ訪問し、希望する方に対し退院後の生活について支援計画を策定します。退院後は訪問や関係者との連絡調整等を行いながら、計画に沿ってスムーズに地域生活に移行できるように支援します。

再入院や病状悪化を防いで、地域での安定した生活を送れることを一緒に目指していきます。



問合せ先	担当部課	健康政策部	健康づくり課
	課長	佐々木	電話 5744-1660
	担当者	竜崎	電話 5744-1683

産業クラスター形成 実計

予算額 1億1,394万6千円

副題：ネットワークを繋いでイノベーションを創出します

ポイント

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催と、平成 32 年に概成する羽田空港跡地第 1 ゾーンの展開を見据え、産業クラスターを戦略的に創出し、地域産業力の向上と受注獲得に繋がります。

事業概要

1 障がい者用スポーツ用具の開発

2,500万円

東京 2020 パラリンピック参加選手による採用を目指した「車いすバスケットボール用車いす」等の製品開発を通じて、区内企業の開発力向上と企業間連携の促進を図り、将来的には福祉・介護分野での受注獲得につなげます。



2 戦略的産業クラスター形成パイロット事業

8,894万6千円

羽田空港跡地第 1 ゾーンで展開される先端産業分野創造の動きを区内産業につなぐため、「次世代モビリティ」、「ライフサイエンス・ヘルスケア」、「ロボティクス」を中心に製品開発に取り組みます。



問合せ先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	臼井	電話 5744-1614 (連携推進担当)
	担当者	奥田	電話 5744-1340

大会競技種目の普及啓発及び大会気運醸成

実計

重点

予算額 4,635 万円

副題：区民の熱烈な応援により大会を盛り上げ、

大会の感動を区民の心に刻みます

ポイント

競技体験会やオリンピック・パラリンピアンによる講演、実技指導など競技の魅力を広める取り組みに加え、大会出場を目指す区ゆかりの選手の応援や区庁舎・駅周辺等におけるシティドレッシング（まちなかの装飾）など新たな取り組みを行うことで、区ならではの盛り上げを図り、大会の感動を区民の心に刻みます。

事業概要

1 総合型気運醸成事業

4,014 万円

学校や地域のイベント、区主催のイベント等を活用し、競技体験会、大会に関連した展示、ブラジル文化の理解を深めるホストタウン事業を実施します。

また、大会1年前（7月）・大会200日前（1月）の節目にカウントダウンイベントを行い、区ゆかりの選手を応援する機会をつくり、PR映像やバナーを活用したシティドレッシングを行うことにより、大会に向けた気運を高めます。



ホッケー競技体験会

2 トップアスリート派遣

621 万円

学校や総合型地域スポーツクラブと連携し、オリンピック・パラリンピアンによる講演や競技体験会を通じ、自身の大会出場経験やメダル獲得までの努力などを参加者に伝え、大会や競技の魅力について理解を深めます。



高田千明選手
(区出身のパラ陸上代表)

問合せ先	担当部課	観光・国際都市部 スポーツ推進課		
	課長	千葉	電話	5744-1733 (東京オリンピック・パラリンピック推進担当)
	担当者	原田	電話	5744-1189

「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の更なる実現をめざして

一般会計総額 2,818億9,242万円

(平成30年度比1.1%増)

【基本的な考え方】

平成31年度予算案は、これまでの成果を着実に果たすとともに、将来への懸け橋となる予算と位置づけ「大田区基本構想」で描いた将来像の実現に向けて推進してきた「おおた未来プラン10年」の成果を総点検するとともに、新たな一歩を踏み出す予算を編成いたしました。
次の5つの重点課題に特に優先的に取り組めます。

次代を担う子どもたちの未来を拓く力を育み、切れ目なく応援する取り組み

合計 98億 8,609万円

【子育て・教育の充実】

【安心して産み、育て、学べる環境をつくります】

- 待機児解消に向けた取り組み(36億9,933万円)
 - 私立認可保育所の整備、区立保育園の改築等(㊦)
- 病児・病後ケアの充実、新生児聴覚検査費用の一部公費負担(1億4,813万円)
- 産後ケアの充実、大田区きずなメール配信対象年齢の拡大(895万円)(㊦)
- 予防接種事業の拡大(8億3,130万円)

【すべての子の生活と成長を応援します】

- 校舎の改築(小中学校)、区立小中学校体育館等の暑さ対策(31億9,005万円) (㊦)
- 中学生英語検定の実施(1,599万円)(㊦)
- 小学生向けものづくり教育(260万円)
- ICTの活用と教員の長時間労働の解消(18億9,939万円)(㊦)
- 不登校児童・生徒への支援体制拡充(1億7,702万円)
- おおた 子どもの生活応援プランの推進(333万円) (先駆的)



誰もが、健やかに安全で安心して暮らせるまちづくり

合計 23億 3,545万円

【健康・福祉の充実、環境対策、安全・安心の確保】

【誰もが元気で活躍できる社会をめざします】

- 地域ぐるみのフレイル予防・健康維持(5,807万円)(㊦)
- 若年性認知症の支援(1,044万円)
- 障がい者総合サポートセンター(愛称:さぼーとびあ)の充実(4億8,639万円)(㊦)
- 精神障がい者へのアウトリーチ訪問支援、精神障がい者の退院後支援(1,133万円)
- 受動喫煙防止対策、屋外の喫煙対策の取り組み(1億993万円)

【環境にやさしいまちをつくります】

- 本庁舎公開空地ミストシャワーシステム設置(195万円)
- 食品ロス削減プロジェクト(おおた「もったいない」応援団の発足等)(134万円)
- こみ減量・資源化対策に向けた古布の回収回収(11万円)(㊦)
- 呑川高濃度酸素水浄化施設設置工事及び施設運転(4億5,781万円)(㊦)

【安全安心なまちをめざします】

- マイ・タイムラインの普及(水防災意識向上のための普及啓発)(454万円)
- 自動ラップ式トイレの新規導入(1,754万円)(㊦)
- 乳児とその保護者を対象とする福祉避難所の追加整備(1,897万円)
- 災害時医療体制の充実(2,984万円)
- 自転車盗難防止対策の強化(109万円) □ 特殊詐欺対策(1,911万円)
- 倒れない・燃えないまちづくりの推進(木造住宅の除却助成、がけ等整備工事助成・実態調査、ブロック塀等改修工事)(10億6,681万円)(㊦)
- 空家等対策、空家等地域貢献活用事業(4,018万円)(㊦)



多様な主体のつながりによる地域課題の解決を支える取り組み

合計 19億 2,707万円

【魅力あるまちづくり】

- 多様な主体と連携します
 - 公民連携による地域課題解決(1,116万円)
 - 交通事業者連携事業(700万円)
 - 池上駅改築支援及び池上地区のまちづくり(3億6,063万円)(㊦)
 - 地域力応援基金助成(2,309万円)
- 【地域力の基盤を強化します】
 - 公共施設の整備(13億5,461万円)(蒲田西・大森西・田園調布地区)(㊦)
 - 図書館ICタグシステムの整備(1億6,682万円)(㊦)
 - 生涯学習センター蒲田の機能充実、区民協働・生涯学習情報誌の拡充(376万円)
- 【誰もが生きたいまちと過ごすまちなをつくります】
 - 生涯学習センター蒲田の機能充実、区民協働・生涯学習情報誌の拡充(376万円)



国際都市おおたの実現に向けてのこれまでの成果を、将来につなげる取り組み

【空港・交通機能向上、観光・産業振興、多文化共生】 合計 13億 8,954万円

【空港を活かしたまちなをつくります】

- 羽田空港跡地における成長戦略拠点の形成(2億5,940万円)(㊦)
- 新空港線の整備主体設立及び関連事業(1億9,032万円)(㊦)
- 空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等調査(2,410万円)(㊦)
- 【国際都市おおた・まちなつを創造・発信します】
 - 国際都市おおたの取り組み(1億1,819万円)(㊦)
 - 勝海舟記念館 開館に向けた取り組み(668万円)(㊦)
 - ティー・プロモーションの推進(1,525万円) □ MIOEの推進(668万円)(㊦)
 - (仮称)大田区産業振興構想策定等(7,181万円)(㊦)
 - 海外人材連携構築事業、スタートアップとのつくり企業の連携創出実証実験(8,924万円)(㊦)
 - 公園のライトアップ事業(池上梅園・大森ふるさとの浜辺公園)(661万円)
 - 蒲田駅・大森駅周辺地区の整備等(6億290万円)(㊦)
- 【国際都市おおたを実現します】
 - 国際都市おおたの取り組み(504万円)
 - (広報・情報発信、グローバル人材の育成・活用等)(㊦)



東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた取り組み

【東京オリンピック・パラリンピック、スポーツ推進】 合計 51億 6,243万円

【東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向け準備します】

- ラジール選手団の事前キャンプ受け入れ(1,491万円)(㊦)
- 大会競技種目の普及啓発及び大会気運醸成(4,635万円)(㊦)
- おおたウェルカムボランティア(4,260万円)(㊦)
- 【スポーツ健康都市実現に向けレガシーを創造します】
 - 大田スタジアムのリニューアルオープン(29億2,499万円)(㊦)
 - 大田区青少年交流センター(旧平和島ユースセンター)の開設(13億8,658万円)(㊦)
 - 平和島公園水泳場施設改修基本計画策定、森ヶ崎公園改良工事(日本サッカー協会公認ピッチサイズ)(3億9,741万円)(㊦)
 - オリンピック・パラリンピック施設周辺道路整備(3億4,959万円)(㊦)

